



11月

オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン

【問】母子保健課（本庁1階） ☎ 24-2115

みんなが
きょう
子ども達!!

いつも
笑顔で
いましょう!!

子どもの虐待防止は親だけでなく、地域に住むみなさんの力も必要不可欠であり、社会全体で実現していくものです。ぜひこの機会に、子どもたちの明るい未来を守るため、私たち一人ひとりに何ができるのか考えてみませんか。

児童虐待の現状

近年、子どもの虐待の相談件数は増加の一途をたどり、子どもの命が失われる痛ましい事件が続いています。

児童虐待は4種類に分類されます。近年、全国的に最も多いのは暴言、面DV（子どもの前での夫婦げんかなど）、言葉による脅しなどの心理的虐待で、本市においても増加の傾向です。

- 心理的虐待
- 身体的虐待
- 性的虐待
- ネグレクト



みんなのできる地域づくり
子どもたちを取り巻く環境において、さまざまな危険から子どもを守るためにも、地域の力が必要です。左の3つのステップで、子育て家族を見守り、寄り添い、必要な時に専門機関につなぐことで、地域みんなで子どもたちを育てていきましょう。

相談窓口 ひとりで悩まず相談してください

こども家庭センター 家庭児童相談

子どもの困った行動や親子関係、児童虐待などのあらゆる相談に専門員が対応します。



☎ 24-2612

- ▶受付時間＝8：30～17：15（平日のみ）
- ▶場所＝本庁1階

女性相談

女性相談員が、DV、夫婦関係、離婚の相談などに応じます（要予約）。

☎ 24-2613

- ▶受付時間＝月曜日 9：30～12：00
木曜日13：30～16：00

※上記時間以外は母子保健課で受付

児童相談所 虐待対応ダイヤル

虐待かもと思ったら、相談（通告）してください。

☎ 189（いちはやく）

※24時間対応、通話無料

児童相談所 相談専用ダイヤル

☎ 0120-189-783

※通話無料、秘密厳守

親子のための相談LINE

チャットで相談することができます。

※匿名可能、秘密厳守



お父さん・お母さんへ 主任児童委員の メッセージ

子どもの笑顔は
地域の光
みんなでき
守りましょう



子ども達は
地域の宝
みんなでき
守りましょう

お父さん
お母さん
子育てはとっても楽しい
ですよ。一緒に
思いが「いっぱい」
作って下さいね

みなさんは「主任児童委員」をご存知ですか。主任児童委員は厚生労働大臣が指名する民生委員・児童委員の中でも、子どもや子育てに関する支援を専門に担当しています。本市の主任児童委員は15人。さまざまな分野で活動してきた人で構成されています。今回、深見恭子会長と下条力男委員に活動内容や子どもの虐待防止のために、大切なことを伺いました。

その子の一番を考える見守り

主な活動は、教育機関、市役所、社会福祉協議会、保健所、児童相談所などさまざまな機関と連携した子どもの見守り活動です。「市役所や学校から連絡を受けてお家を訪問し、親や子の相談にのるなど、それぞれの家庭に寄り添う活動をしています」と日々の活動を話す深見さん。他にも、新小学一年生になる親子が集まる就学児健康診断に参加して、親子と交流しながら、目を配るなどの活動もしています。

活動にかける思い

見守るうえで大切にしていることを伺うと「多くの場合、抱えている問題はとても複雑です。だれかと少し話すだけでも、不安を和らげる事につながれると思うので、焦らず変化のきっかけを

子どもたちの笑顔は みんなで守ろう

取材を終えて

今回、子どもの笑顔を社会で守っていく取組みを取材し、そこで一人ひとりと真摯に向き合う姿をみました。虐待防止に大切なのは人とのかわり合い・孤立を防ぐこと。地域の温かい見守りや寄り添いが力になります。みなさんも自分にできることを考えてみませんか。

◀ 深見会長

▶ 下条委員

ひとりで悩まずに
気軽に相談
してください。
いつも近くで
見守っているよ。

小さなことでも
声かけて
下さいね

お母さんや子どもたちが
ニコニコ笑顔で
いられますように

ママの笑顔が
いちばん!!
ひとりで
悩まないで!!